

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木育推進事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 企画財政課 (0264-22-4287)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,474,000円 (うち支援金: 1,179,000円)

事業内容

7月 施設改修前のふるさと体験館にて、第1期おもちゃ学芸員養成講座を開催。(受講者25名)

11月 木曾町役場にて第2期おもちゃ学芸員養成講座を開催。(受講者21名)

◆おもちゃ学芸員養成講座は、8つのカリキュラムにより構成し、1日半の講座を通して、おもちゃ遊び、学芸員の活動内容を学習した。

3月 木曾町文化交流センターにて、木育インストラクター養成講座を開催(受講者30名)。

木育概論、ワークショップ、グループワークを通じて、木育が目指すことを学んだ。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①ボランティアスタッフという位置づけのおもちゃ学芸員の養成に、果たして受講者が集まるのか心配されたが、コロナ禍の中でも46名が受講し認定を受けた。町内、郡内をはじめ、松本市や伊那市など県内各地域から、また遠方は秋田県や兵庫県からも参加いただき、木曾おもちゃ美術館の運営をはじめ、共に盛り上げていこうとする体制づくりが構築できた。

②木育インストラクター30名が新たに認定され、それぞれの立場や環境で木育推進の取り組みが実践されることが期待される。

③予定していた木育キャラバンは新型コロナ感染拡大により中止となったが、町民のおもちゃ学芸員が18名誕生し、更なる町民への波及効果により、機運向上が期待される。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2022年秋頃のおもちゃ美術館開館に向けて100名のおもちゃ学芸員を養成したいため、次年度以降も引き続き養成講座を開催していく。町内だけでは賅えないため、郡内・県内など近隣自治体と連携し、確保に取り組む。また今回の養成講座より期間が開いてしまうため、モチベーションの維持等の観点から、認定者を中心にフォローアップ講座も取り入れていく。



【養成講座の様子】

【目標・ねらい】

- ① おもちゃ学芸員90名の養成
- ② 木育を推進する人材の育成
- ③ 木曾おもちゃ美術館完成に向けた地域の機運向上

※自己評価【B】

【理由】

新型コロナ感染拡大により予定していた回数の講座の開催はできなかったが、町内をはじめ各地域より意欲的な人材の結集ができ、木育による地域の活性化の第一歩を築けた。